

## いそはま日記 2024(2)

前号で紹介した以外に様々な漂着物を拾うことができました（写真1）。カイメン、ゴカイの巣、イカの甲、オオヘビガイの殻、ウニの殻、ハスノカシパンの殻、エイの卵殻などです。また、打ち上がった貝殻を探すのは楽しいもので、写真2のように集合して打ち上がっている場所があり、そこを丹念にさがすと珍しいものが見つかるかもしれません。しかし、普通に見つかるアサリなどの貝殻も捨てたものではありません。今回、私は拾ったアサリとサクラガイの貝殻を使って写真3のように飾ってみました。アサリの殻はどれ一つとして同じ模様がなく、現代アート顔負けです。

これから打ち上げが多くなる季節です。みなさんもぜひ、里海公園の浜辺に打ち上がった海の宝物を見つけに来て下さい！

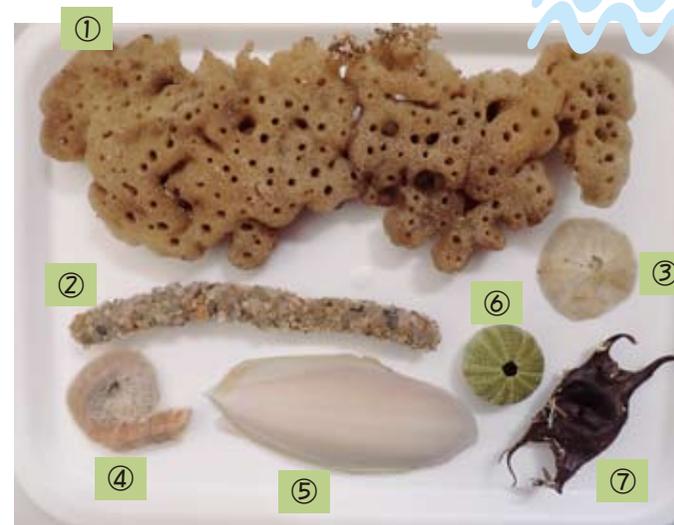


写真1

- ① カイメン
- ② 砂粒で作られたゴカイの巣
- ③ ハスノカシパンの殻
- ④ オオヘビガイの殻
- ⑤ イカの甲
- ⑥ ウニの殻
- ⑦ エイの卵殻



写真2 写真の様に、波打ち際には地形や風向きで貝殻の打ち上げが集中しているスポットがある。



写真3 拾ったアサリとサクラガイを並べてみた。サクラガイは蝶が羽ばたくように見える。アサリの殻の模様は一つとして同じものはないが、真っ白や真っ黒な貝殻はめつたにみつからないレアもの。



せんなん里海公園  
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所